

# 防犯活動日記

(12/13 南西部地域振興センター)

今回は新座市の馬場2丁目町内会のパトロールにお邪魔し、お話を伺いました。



■パトロールを始めたきっかけを教えてください。

新しい住宅が建ち始め、子供たちが町内に増えてきた 10 年ほど前にパトロールを始めました。現在は、毎週金曜日の 18 時 30 分頃から町内をパトロールしています。

## ■パトロールはどのように行っていますか？

町内会の班員が持ち回りでパトロールを行っています。参加人数は毎回 10 人ほどです。

日によってルートを少し変えながら、町内を歩いて見回ります。

パトロールの際は緑の防犯ベストを着用のほか、誘導灯や拍子木を使って犯罪抑止をしています。



■どのようなことを心がけてパトロールを行っていますか？

車が通り抜けできないような暗く細い路地やふだん見かけない車を注視し、すれ違う方には積極的に挨拶をするなど、住民ならではの目線でパトロールを行っています。

特に夏場は遅くまで公園で遊んでいる子供たちが多いため、明るいうちに帰宅するよう声かけもしています。

また町内にある県道や市道は交通量がとても多いが歩道が狭いため、車両が通行する際は班員同士で声を掛け合い、安全に防犯パトロールができるよう心掛けています。

■パトロールを行うなかで困ったことや良かったことを教えてください。

約10年前から防犯パトロールを続けていますが、参加人数不足や活動継続に悩まされたことはありません。

それは馬場2丁目の住民の地域への思いや防犯意識が強いからだと感じています。

良かったことは、パトロール中、拍子木の音を聞くと必ず家の玄関や窓から出てきて御礼を言ってくれるお宅があることです。お孫さんまで出てきて挨拶をしてくれることもあり、とても嬉しく思います。



## ■これからの抱負をお願いします！

町内会の防犯活動は継続していくことが大事で、これが町内の犯罪抑止につながると考えています。

今後も班員が協力して防犯活動を続けていきたいです。



本日は、ご協力いただきありがとうございました。  
今後ともよろしくお願いします！